

大智寺だより

平成 24年師走
Vol.34

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1
電話:058-229-1532

《Mail》
hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺 検索

<http://www.daichiji.com/>

当紙は、大智寺本堂及び墓地の水小屋にてご自由にお取りいただけます。又、当寺ホームページにて過去の紙面をご覧いただけます。ご活用ください。

11月号発行部数
300部

ご愛読
ありがとうございます



今年もとうとう暮れていきます
12月31日 夜11時30分～
除夜の鐘のご案内

年賀状作りに大掃除、忘年会や買い出しと、あっという間に過ぎてゆく12月。

皆様にとって、今年はどうな一年でしたか？

仕事や家庭、それぞれの立場がある中で、日常は飛ぶように過ぎていきます。毎日、心の中の仏様を大切に、和やかに人と接してきただろうか…
毎日、生かされている自分に感謝し、「おかげさま」の心でいただろうか…
毎日、自分のことだけでなく、人のことも大切に思っていたらうか…

一年の終わりに、心の声に耳を傾けてみると「まだまだ…まだまだ…」という仏様の声が聞こえてくるようです。

この一年、決してきれいな心のままで過ごしてきたわけではありません。むさぼりの心、怒りの心、疑いの心、高慢な心そんな邪心を打ち払うのが「除夜の鐘」です。

除夜の鐘は、大晦日11時30分からです。どなた様もお気をつけてお越しください。



すがすがしい一年をお迎えします
1月1日・2日・3日
朝10時～11時
修正会（しゅしょうえ）のご案内

除夜の鐘で邪心を打ち払い、清らかな心で新年をお迎えすると、禅寺では年中行事である「修正会（しゅしょうえ）」が行われます。

大智寺では、正月3日間「修正会」のおつとめを行います。この「修正会」では、今年一年、仏様の教えを守り、身も心も正しく律していくことを、お参りいただいた皆様とともに誓います。

また、この3日間の修正会では、ご来山いただいた皆様と大般若経の転読も行います。「大般若経」とは中国 唐の時代の玄奘三蔵法師がインドから持ち帰ったお経の漢訳で、全600巻に及びます。

この膨大な経典の一番大切な部分が、「般若心経」という毎日慣れ親しんでいるお経なのです。

どなた様でも修正会にお参りいただけます。新しい年の始まりに、皆様と笑顔でお参りできますように。



11月18日(日)
鷺見家 追善供養

秋も深まってくると、毎年紅葉を楽しみに大勢の方々がお参りくださります。そんな中、少しずつ大智寺が創建された当時のことに興味をいだいて下さる方も増え、嬉しい今日この頃です。



毎年この時期には、大智寺の開基様である鷺見美作守保重公(すみまさかのかみやすしげ)の子孫の方々が集まり、お墓のお掃除をしてくださり、その後開基様の追善供養を行われます

今から五百年以上前、北野城主としてこの地を治めた鷺見美作守保重公は、お城の鬼門に当る方角に、「ご自分の菩提寺を建てよう、と大智寺を創建されました。

しかし時は戦国の世。敵に攻められ、開基様は大智寺の裏山で自害され、鷺見家一族は全国各地に逃げ落ちることとなったのです。

それから月日は流れ、今では全国の鷺見家子孫の方々が「鷺見家会」という集まりを作り活動されています。

一族の家を守り、歴史を次世代に伝えてゆく姿を、開基様も微笑んでご覧のことと思う追善供養でした。



手作りの菊やお花
ありがとうございます。

11月初め、里三号の皆様が弘法堂のお掃除をしてくださいました。ちょうど菊の時期でもあり、「自分の畑で育てている菊をたくさんお供えに持ってきてくださり、御堂の中が菊のいい香りいっぱいになりました。

お掃除の後は、みなでお経をあげ、お茶菓子で楽しいひと時を過ごしました。

本当に

ありがとうございます。



また、「お寺のお地藏様」と菊をはじめ、たくさんのお花を持ってきてくださった皆様、本当に助かりました。「菊」と一言で言っても、たくさん種類があり、それぞれとってもかわいらしかったです。



お寺では、境内のお地藏様や観音様にお花をお供えています。「このお花は今朝〇〇さんからいただいたお花ですよ」と、話しかけながらお花を替えられることが、なによりうれしいことでした。



本当にありがとうございます。

2012年全日本 ARDF 競技大会
In 岐阜
11月25日(日)

よく晴れた11月25日、もみじ狩りには絶好の行楽日和に、一般社団法人 日本アマチュア無線連盟主催の全日本 ARDF 競技大会が開催されました。本大会競技(3.5MHz)は、参加者150名ほどで皆さん九州、四国、近畿、関東、北陸と、全国各地から集まっておられました。ファミリーパークから出発し、大智寺の前をたくさんの中高年男性が、無線を使いながら走りまわるといふ、めったに見られない珍しい競技でした。競技の後には、境内の紅葉を楽しんでいただけただようで何よりでした。



～ まめ知識 インタビューしてみました ～

第四回：お仏壇屋さんの「お鈴（おりん）」エピソード



ご自宅のお仏壇に手を合わす毎日に、
ちょっとお役に立てればありがたい、そんなお話。

やはりお仏壇に手を合わす時にお鈴をたたくと、心が静まるものです。
そんな日常に溶け込んだお鈴、実は複雑な職人技が凝縮されていることをご存じですか？

お鈴は真鍮（しんちゅう）の鋳物で形が作られています。
側面の部分は厚く丈夫に作られています、底の部分はとても薄くできています。
特に底の部分の真ん中は、上等なお鈴だと厚さ1mm程の薄さです。
その厚い薄いを形作り、いかに響きの良い音色を出すかが職人の腕の見せ所となります。

お鈴は丈夫そうに見えますが、とっても繊細です。亀裂が入っただけでも音は鳴らなくなります。
決して、お鈴がさびているからといって磨いたりせず、そのまま大切にお使いください。

《 大野仏壇総本店様より 》

今年のおしるし



年の瀬を迎え、何かと心せわしい時期となりました。
なんともなく、「一年が終わる」と思つと、やり残したことがあるのではないかと心がそわそわします。そわそわすると、「今」に集中できなくなり余計不安になります。

そんな時、「柚子の皮を千切りにする」とか「廊下の水拭きをする」とか「お墓のお花を整える」とか、「ごく毎日している単調な作業をしてみると、驚くほど心が落ち着いたりします。」

あるお祖師様は「仏道とは平常心だ」と説かれています。日常の暮らしの中で、心がイライラしたり、ソワソワしたり、一定でないことも疲れれます。平常心を保つための工夫が、禅なのだといふ説かれています。

一日が終わる、一週間が終わる、一か月が終わる、一年が終わる、そして一生が終わる。でも一生がいつ終わるかは、わかりません。年の瀬のように「終わりへの準備期間」はありません。だからこそ、「今」「ここ」に集中し、この瞬間を生き切る思想「禅」が生まれたのかもしれない。

今年一年、この「大智寺だより」を作成することに集中できたのは、毎月読んで下さる方々のおかげの他ありません。「今」「この一枚」に、来年も一生懸命でありたいと思います。本年、ありがとうございます。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里5号のおばあちゃん ポリポリ柚子大根

- ① 大根1本を長さ4cm程の箸でつまめる大きさに切る。
- ② 大きなボールに大根と粗塩大さじ2を入れてかきまわす。
- ③ 押しふたをして2キロの重石を上に乗せ、一時間くらい待つ。
- ④ 大根から出た水分は、布巾など使ってしっかり絞る。
- ⑤ 柚子一個分の皮の千切りと、しぼり汁と、酢大さじ4、塩少々砂糖大さじ4と、大根を密封袋に入れてよく揉んでできあがり。

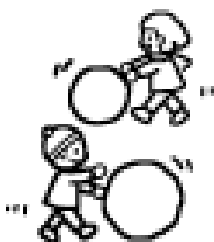


柚子の皮を包丁でむく時は、白いわたの部分が入ると苦くなるから気を付けて。
箸休めに、お茶請けに、テーブルに置いておくと、みんなポリポリ食べるんやて。

岐阜市デジタルアーカイブに 写真を提供します。

「デジタルアーカイブ」とは、岐阜市の『観光振興』を目的とした広報活動のため関係メディアに無料で写真を貸し出すシステムです。ホームページ上にアップされた写真データは、『観光振興』のための印刷物に利用されることが、前提となるそうです。

現在、岐阜市の見どころの写真が 345 枚ホームページ上にアップされています。フォトギャラリーとして見ているだけでも



なかなか見応えがあり、あちこち行った気分になれます。

これからどのように大智寺の写真が活用されるか楽しみです。

「ええとこたんと！2013年1月」 に掲載していただきます。

「ええとこたんと！」は、岐阜市ブランドの発信をコンセプトとした小冊子です。地元のお土産や、旬の情報、イベントや見どころの紹介など、盛りだくさんです。

岐阜市では、この小冊子をホームページ上でも閲覧できるようデジタルブックとしてアップされています。もしよろしければ、「ええとこたんと！」と検索してみてください。

ちなみに、岐阜市職員の方々が、リレー形式で岐阜市を紹介している「ええとこたんと！！」というブログも、おもしろいですよ。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

12月23日（日） 一回 500円
（朝8時～9時） （内300円は義援金）
要申込

11月写経会 備忘録

ちょうど紅葉が見ごろとなった11月の写経会一段と冷え込む朝でしたが、お集まりいただきありがとうございました。

今月は、参加者の方から皆様にかわいい文字の入ったおやつのお土産があり、なごやかな時を過ごす事が出来ました。寒くなってきたので、おすそ分けしたお寺の柚子で、柚子風呂にしてください、身体を大切にしてください。

永代供養墓の大切なお知らせ

この度、多数の方々からのご提案ご助言をお受けし、永代供養墓の価格を見直すこととなりました。

価格移行時期は、平成25年1月1日～適用となります。
今年末 平成24年12月31日までは、現行価格のままとなります。



ご検討されている知人の方やご親類、お友達へ周知のご協力をよろしくお願いいたします。

